

「社会的課題と 学術統合による 研究と教育」

社会経済の複雑化や新技術の進展により、将来の不確実性が増大しています。このため、社会的課題は単独の学問では解決できず、学際的なアプローチが求められています。国際学術会議も、科学と政策や実践を結びつける学際的な科学の重要性を10年以上にわたり強調しています。この学際的なアプローチは、大学の教育や研究にも影響を与えており、より実行可能な知識と解決策を生み出すことが期待されています。本学術講演会は、こうした背景の中で大学の教育と研究の在り方を探求します。

参加費
無料

令和6年**11月30日(土)** 13:30 ~ 17:10
どなたでもご参加いただけます

場 所

高知工科大学永国寺キャンパスA213教室

(高知県高知市永国寺町2番22号)(対面・オンラインによるハイブリッド開催)

※会場には駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場もしくは公共交通機関をご利用ください。

会場定員

100名 参加希望の方は11月22日(金)までに下記URLまたはQRコードより、事前申し込みをお願いいたします。 <https://forms.office.com/r/W6dUHV571e>



プログラム

- 13:30 ~ 13:45 (1)開会挨拶
三枝 信子 (日本学術会議副会長、日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人国立環境研究所地球システム領域領域長)
蝶野 成臣 (高知工科大学長)
- 13:45 ~ 13:50 (2)趣旨説明
那須 清吾 (日本学術会議連携会員、中国・四国地区会議運営協議会委員、高知工科大学経済・マネジメント学群教授)
- 13:50 ~ 14:20 (3)講演
「多様化する社会的課題に資する
高等教育機関へ向けて」
岩田 誠 (日本学術会議連携会員、高知工科大学副学長・情報学群教授)
- 14:20 ~ 14:50 「知識創造と社会デザイン：
大学院リーグが目指す変革とは」
永井由佳里 (日本学術会議第三部会員、北陸先端科学技術大学院大学理事・副学長、高知大学客員教授・非常勤講師)
- 14:50 ~ 15:20 「理論と実践の隙間を埋める
PBL教育の試み」
土屋 哲 (日本学術会議連携会員、高知工科大学経済・マネジメント学群教授)

- 15:20 ~ 15:30 休憩
- 15:30 ~ 16:00 「Advanced Technology と看護」
大坂 京子 (高知大学医学部看護学科長・教育研究部医療学系看護学部門教授)
- 16:00 ~ 16:30 「学術統合による課題構造化と
DXシステム研究」
那須 清吾 (日本学術会議連携会員、中国・四国地区会議運営協議会委員、高知工科大学経済・マネジメント学群教授)
- 16:30 ~ 17:00 「高知から世界へ！
ヘルスケアイノベーションの挑戦」
菅沼 成文 (高知大学副学長・教育研究部医療学系長・MEDIセンター長・連携医学部門教授)
- 17:00 ~ 17:10 (4)閉会挨拶
数田ひかる (日本学術会議第三部会員、中国・四国地区会議代表幹事、広島大学大学院先進理工系科学研究科教授)

お問い合わせ 高知工科大学研究支援課 学術講演会担当

Email gakuren@mlsv.kochi-tech.ac.jp

Tel 0887-57-2025

主 催 日本学術会議中国・四国地区会議、高知県公立大学法人高知工科大学 / 後 援 国立大学法人高知大学